

JAとりで総合医療センター パーキンソン病に対する短期集中リハビリテーション PDメソッド・入院

パーキンソン病は、病気そのものによる障害と、運動量が減ることによる廃用症候群が重複して機能障害がおこります。運動療法は、身体機能・健康関連QOL・筋力・歩行速度の改善に有効とされており、発症早期から行うことが望ましいと言われています。

<対象となる方>

- ・パーキンソン病、パーキンソン症候群と診断された方
- ・身の回りのことがご自身で行える方
- ・状態が安定しており、原則2週間の入院リハビリテーションが行える方
- ・医師より、短期集中リハビリテーションが行えると判断された方



<期間・時間>

2週間入院し行います

約2時間の個別リハビリテーション、約1時間の自主練習、講義

※お身体の状態により変更となることがあります

入院時および退院後、定期的なお身体の状態確認を行います（3年間を予定）

<プログラム内容>

開始時・終了時にお身体の状態確認を行います ※状況により変更されることがあります
本プログラムは、過去の研究から有効とされている内容を参考に作成した当院オリジナルのプログラムで、個人に合わせ一部内容を調整して行います

●個別リハビリテーション

理学療法士/作業療法士/言語聴覚士より、個人に合わせたリハビリテーションを実施します
例：柔軟性練習、バランス練習、耐久性練習、
日常生活動作練習、発声練習、など

●自主練習

個人に合わせた自主練習メニューを提供します

●講義

病気への理解を深めるため、医師やリハビリテーションスタッフ、
薬剤師など多職種による講義を行います



短期集中リハビリテーションに興味のある方は、診察の際に主治医に御相談ください
入院の他、PDメソッド・外来、外来リハビリテーション（LSVT BIG®/LSVT LOUD®/
個別リハビリテーション）も行っています

問い合わせ：リハビリテーション部